

東京都・立川市合同総合防災訓練 (平成 27 年度)

場所: 国営昭和記念公園周辺、都立木場公園、東京港木材埠頭など

日時: 平成 27 年 9 月 1 日(火)

平成 27 年度 東京都・立川市合同総合防災訓練の実施について

東京都は、立川市と合同で下記のとおり総合防災訓練を実施しましたので、お知らせします。

なお、本訓練は、九都県市合同防災訓練の本会場として実施しました。

1 訓練ポスター

平成 27 年度総合防災訓練のポスターです。

2 会場マップ

平成 27 年度総合防災訓練の会場マップです。

3 訓練概要

訓練名

平成 27 年度東京都・立川市合同総合防災訓練

目的

震災時における都、市、各防災機関との連携の強化及び自助・共助に基づく地域防災力の向上を図るため、実践的な訓練を実施する。

実施日時

平成 27 年 9 月 1 日(火曜日)

午前 9 時から午後 0 時 30 分まで

主な会場

国営昭和記念公園及び周辺、都立木場公園、東京港木材埠頭など

特徴

1. 倒壊家屋ほか、地震により停車したモノレール車内からの救出救助訓練

警察・消防・自衛隊が連携した倒壊家屋からの救出救助訓練

急停車した多摩都市モノレール車内からの救出救助訓練

2. 臨海部における救出救助活動拠点等の設置運営訓練

主な訓練実施内容

(1) 国営昭和記念公園及び周辺

警察・消防・自衛隊等の防災機関と危機管理ネットワーク加盟都市(ソウル市、台北市)の消防隊が連携した救出救助等訓練、地域住民による初期消火・倒壊建物からの救出救助・応急救護等体験訓練、各道路管理者及びレッカー事業者による道路啓開訓練、緊急医療救護所における医療救護班や災害拠点病院が連携した負傷者トリアージ等の医療救護班活動訓練、電気・ガス・通信等ライフラインの応急復旧訓練、各防災機関による展示ブース出展、炊出し訓練、被災者支援システム活用訓練 など

(2) 立川市立泉体育館

自治体職員・輸送機関・ボランティア等による緊急支援物資の避難所搬送 など

(3) 立川市立柴崎体育館

検視・検案・身元確認訓練

(4) 都立木場公園

救出救助活動拠点としての医療機能設置・運営 など

(5) 東京港木材埠頭

救出救助活動拠点としての海上保安庁巡視船・海上自衛隊護衛艦を活用した医療機能設置・運営 など

平成 27 年度 東京都・立川市合同総合防災訓練の様子

東京都は、平成 27 年 9 月 1 日、立川市と合同で多摩直下地震を想定した総合防災訓練を実施しました。

1 実施規模

参加機関(団体):約 100 機関(団体)

参加人員:約 7,500 名

2 東京都災害対策本部審議訓練

平成 27 年 9 月 1 日(火)の早朝に多摩直下地震(震源地:多摩東部、M7.3、最大震度 6 強)が発生したとの想定のもと、概ね 2 時間後に都の災害対策本部会議を開催することを想定し、災害対策本部審議訓練を行いました。

また、東京都災害対策本部長(都知事)及び内閣府副大臣が内閣総理大臣及び防災担当大臣とのテレビ会議を行いました。



審議訓練の様子

3 地域住民の避難場所への避難訓練

- ① 一時避難場所等への避難訓練を実施することで、街中の危険箇所の確認及び避難経路について検討する
- ② 集団での避難の課題や困難さを確認する。
- ③ 震災による住宅街での火災発生時における対応能力を高める。

上記を目的として、立川市内全域の12地域で、地域内避難場所への避難訓練を実施しました。



地域で定めた一時避難場所



広域避難場所(国営昭和記念公園)への集合

4 住民共助による救護・救助、消火訓練

地震などの大規模災害時には、住民同士がお互いに助け合う「共助」が非常に重要になります。国営昭和記念公園の芝生広場において、「共助」をテーマとして、地域の防災リーダーである消防団員や消防少年団員、東京消防庁災害時支援ボランティアなどが訓練指導の中心となり、共助による救助、救護、消火訓練を実施しました。



救出救助訓練



初期消火訓練

5 モノレールからの救出救助訓練

地震にによる停電で立川市内を縦断する多摩都市モノレールが、高さ13メートルの高架上で緊急停止し、照明やエアコンも稼働しない状況の中、約20名の乗客が取り残されているとの想定のもと、訓練を実施しました。

高所で停車した車両から乗客を救助するため、警察や消防の特殊車両が駆けつけました。救助された乗客は、救急車等で災害医療センターに搬送されました。

さらに、モノレール運転手が各車両内に積載する緩降機を活用して乗客を降ろす訓練も実施しました。



高所からの救助状況



高所からの救助状況



高所からの救助状況



緩降機を活用した救助

6 倒壊建物等からの救出救助訓練

首都直下型地震などの大規模災害が発生した場合、高層ビルやマンションなどが密集する地域においても崩壊や火災、道路陥没などの被害の発生が想定されています。このため、発災直後における自助・共助による初期消火や救出救助等の活動、そして、各防災機関が連携しての救助活動がきわめて重要となります。

今回の訓練では、火災や家屋倒壊が発生した被災現場を再現し、地域住民自らが避難する自助、近隣住民やボランティア・消防団・自衛消防隊との連携による共助を実施した後、道路啓開・火災延焼阻止・救出救助・医療救護といった公的活動を実施しました。



関東地方整備局による電柱除去訓練



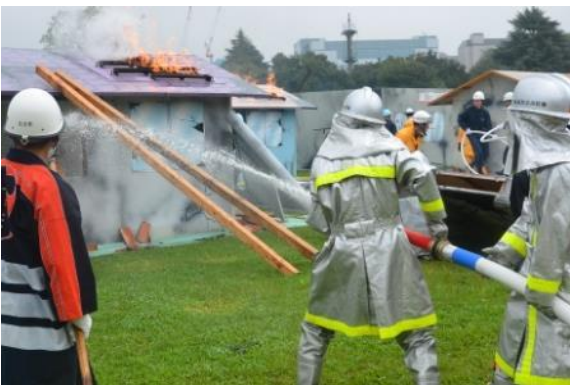
東京都建設局による障害物除去訓練



オフロード白バイによる情報収集活動



警視庁警備犬による搜索活動



市民消防隊による消火活動



中層ビルからのホイスト救助訓練



現地指揮本部設置訓練



負傷者搬送訓練



倒壊家屋からの救出救助活動



中層ビルからの救出救助活動



双腕重機による障害物除去活動



救護所での医療救護活動

7 医療救護班活動訓練

医療救護班活動訓練は、国営昭和記念公園及び東京都災害拠点病院である災害医療センターの敷地内を使用し、緊急医療救護所の設置、そしてこの緊急医療救護所に負傷者が殺到したことを想定した訓練を実施しました。各緊急医療救護所では、トリアージされた傷病者に対する応急処置等の医療救護訓練を行うとともに、救急車や担架による災害拠点病院への搬送を行いました。

あわせて、立川市災害医療コーディネーターを中心に、立川市と各緊急医療救護所及び災害拠点病院間で、無線機を用いた情報伝達訓練も実施しました。

このほか、立川市災害薬事コーディネーターを中心に、発災後72時間が経過したという前提で、医療救護所や避難所で使用する医薬品や医療物資の調達訓練も実施しました。



トリアージ訓練（災害医療センター）



傷病者処置訓練（災害医療センター）



患者搬送訓練（昭和記念公園）



医薬品調達訓練（昭和記念公園）

8 検視・検案、身元確認訓練

柴崎市民体育館では、立川市・警視庁・医師会・歯科医師会・歯科衛生士会・東京都監察医務院等の協力の下、検視・検案、身元不明死体に対する身元確認、そして火葬許可証交付までの一連の流れを訓練で実施しました。

災害時に一人でも多くの生命を救うことは当然ですが、遺体についても死者への尊厳と遺族の感情を十分に配慮する必要があります。各関係機関は、収容から火葬まで遺体を迅速、かつ、適切に取り扱えるように一連の作業を確認しました。



身元不明死体に対する身元確認①



身元不明死体に対する身元確認②

9 緊急支援物資輸送訓練

首都直下型地震が発生し、平常時の市場流通機能が被害を受けた場合においても、避難者の生命を守るためには、食料・水等の生活必需品を確保し、迅速かつ的確に避難者へ供給する必要があります。今回の訓練では、都の備蓄倉庫、都内広域輸送拠点、地域内輸送拠点の各結節点を陸上輸送及び航空

輸送により接続させ、物資を円滑に避難所に投入するための実施体制について検証しました。



訓練会場に集結する輸送トラック



支援物資の積み下ろし作業



品目ごとの物資仕分け、集積作業



陸上自衛隊による燃料輸送、供給

10 炊き出し訓練

訓練会場でカレーライスや五目御飯の炊き出しを実施し、ご来場いただいた皆様に召し上がって頂きました。



陸上自衛隊によるカレー調理



日本赤十字社による五目御飯調理

11 被災者生活再建支援システム活用訓練

都独自の被災者支援システムを活用し、住家被害の認定から災証明の発行まで、生活再建支援の全体像がわかる訓練を実施しました。



り災証明書の発行



生活再建メニューの窓口説明

12 展示・体験、応急復旧訓練

訓練会場内に各防災関係機関の展示ブースを設置し、一般来場者等を対象に幅広く防災に関する展示・体験型訓練を行いました。また、電気・ガス及び上下水道の各ライフラインに関して、災害時における応急復旧に関する実演型訓練を行いました。



展示ブースの様子



展示ブースの様子



水道施設の応急復旧実演



下水道施設の応急復旧実演

13 大規模救出救助拠点設置・運営訓練

大規模救出救助活動拠点の設置・運営訓練として、都立木場公園では、陸上自衛隊の現地指揮

所が設置され、周辺被害情報の把握等に努めたほか、負傷者の受入れ等を実施しました。東京港木材埠頭では、海上保安庁の巡視船や海上自衛隊護衛艦の内部に多数の病床が設置され、随時搬送されてくる負傷者の応急処置が東京DMAT等との連携のもと実施され、医療拠点としての機能が検証されました。



陸上自衛隊現地指揮所の様子



海上自衛隊護衛艦内での医療救護処置